

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価					
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等			
学校 の 管理 運 営	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	①学力状況調査等の結果を踏まえ、児童の実態を把握した目標の設定、改善プランの作成・実行及び、学校評価での成果の検証	4	教員評価「授業改善に関する項目」 肯定100%	4	4	保護者評価「授業改善に関する項目」 肯定100%	3	教職員100%・保護者89% 授業におけるICT機器や一人一台タブレット端末の効果的な活用に向けて積極的に取り組んだ。	①学習状況調査等の結果を踏まえ、学級の実態よ課題を把握した目標の設定、改善プランの作成・日々の実践の推進	B	B	○概ね良い。	
			3	教員評価「授業改善に関する項目」 肯定80%		3	保護者評価「授業改善に関する項目」 肯定80%							
			2	教員評価「授業改善に関する項目」 肯定60%		2	保護者評価「授業改善に関する項目」 肯定60%							
			1	教員評価「授業改善に関する項目」 肯定60%未満		1	保護者評価「授業改善に関する項目」 肯定60%未満							
	組織的な人材育成を行う。	①学年会及び校内OJTとして、教職員の指導力向上を目指した研修会の実施 ②服務事故の未然防止に向けた計画的な研修の実施	4	教員評価「教職員としての自覚にする項目」 肯定100%	4	4	保護者評価「教員の対応に関する項目」 肯定100%	3	教職員100%・保護者97% 年間計画に基づき、計画的に学年会・校内OJT・服務事故防止研修を実施した。	①教職員の指導力向上を目指した学年会及び校内OJT等の研修会の充実 ②服務事故の未然防止に向けた計画的な研修の実施による教職員としての自覚の促進	A	B	○概ね良い。	
			3	教員評価「教職員としての自覚にする項目」 肯定80%		3	保護者評価「教員の対応に関する項目」 肯定80%							
			2	教員評価「教職員としての自覚にする項目」 肯定60%		2	保護者評価「教員の対応に関する項目」 肯定60%							
			1	教員評価「教職員としての自覚にする項目」 肯定60%未満		1	保護者評価「教員の対応に関する項目」 肯定60%未満							
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	①毎月実施する安全点検と迅速な対応 ②各教室の環境整備及び持続的な学校環境衛生	4	教員評価「安全点検の実施と教育環境に関する項目」 肯定100%	3	4	保護者評価「学校は教育環境を整えているか」 肯定100%	3	教職員92%・保護者91% 毎月の安全点検を計画的に実施するとともに、教育環境整備に向け、区と連携した対応を迅速に行った。	①校内外の安全点検の徹底による教育環境・設備の充実 ②各教室の環境整備及び持続的な学校環境衛生のための定期的な点検の充実	B	B	○子供たちの憧れ、大谷翔平さんグローブをもっと身近に！管理の面では難しいと思うが。	
			3	教員評価「安全点検の実施と教育環境に関する項目」 肯定80%		3	保護者評価「学校は教育環境を整えているか」 肯定80%							
			2	教員評価「安全点検の実施と教育環境に関する項目」 肯定60%		2	保護者評価「学校は教育環境を整えているか」 肯定60%							
			1	教員評価「安全点検の実施と教育環境に関する項目」 肯定60%未満		1	保護者評価「学校は教育環境を整えているか」 肯定60%未満							
家庭・ 地域 連 携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	①学校だよりを始め各種たよりやホームページ、Cocooによる、保護者に向けた日常の教育活動の発信 ②保護者全体会・保護者会・個人面談の適切な実施	4	HP更新頻度及び教員評価「学校からの発信」 肯定100%	4	4	保護者評価「学校からの発信」 肯定100%	3	教職員100%・保護者93% 面談や保護者会での情報共有及び、児童の学習や活動、給食の様子、各種たより等のホームページでの発信が保護者の学校理解につながった。	①ホームページやCocoo等を活用した、日常の教育活動の積極的な発信 ②保護者会・個人面談の適切な実施、必要に応じた保護者との情報共有による連携	B	B	○個人面談の日程あわせなど、担任の先生方に大変エネルギーを感じる。	
			3	HP更新頻度及び教員評価「学校からの発信」 肯定80%		3	保護者評価「学校からの発信」 肯定80%							
			2	HP更新頻度及び教員評価「学校からの発信」 肯定60%		2	保護者評価「学校からの発信」 肯定60%							
			1	HP更新頻度及び教員評価「学校からの発信」 肯定60%未満		1	保護者評価「学校からの発信」 肯定60%未満							
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	①学校運営連絡協議会や同窓会と連携し、地域統括アドバイザーを中心に地域素材や人材を活用した授業の展開 ②PTAと連携した、朝の読み聞かせや放課後の居場所づくり	4	教員評価「地域を生かした学習に取り組んだ」 肯定100%	4	4	保護者評価「地域・PTAとの連携に関する項目」 肯定100%	3	教職員100%・保護者92% PTAや地域統括アドバイザーを中心にした、地域人材の活用等の学習や朝の読み聞かせりに積極的に取り組んだ。	①地域資源・人材を活用した学習の更なる推進 ②PTAと連携した、朝の読み聞かせや放課後の居場所づくりの充実	A	B	○本所警察をお呼びした自転車教室、地域の方々と交えた見学、子供たちの心を大変育んでいると思う。	
			3	教員評価「地域を生かした学習に取り組んだ」 肯定80%		3	保護者評価「地域・PTAとの連携に関する項目」 肯定80%							
			2	教員評価「地域を生かした学習に取り組んだ」 肯定60%		2	保護者評価「地域・PTAとの連携に関する項目」 肯定60%							
			1	教員評価「地域を生かした学習に取り組んだ」 肯定60%未満		1	保護者評価「地域・PTAとの連携に関する項目」 肯定60%未満							
			4			4								
			3			3								
			2			2								
			1			1								

○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・地域を教材とした探究学習について、今年度も多大な協力を得ることができた。生活科・総合的な学習の時間の学習において、地域の人々・関連施設の皆様から多大なる協力をいただき、子供たちの願いを実現できる良い機会となった。

・学力向上に向けた取組では、学習習慣の定着を図るため各種ワークシートやアプリの活用、補習学習、家庭学習の定着に注力してきた。日々の取組の成果が区学習状況調査の結果につながった。児童一人一人に学ぶ喜びを感じさせたい。